

仙台地域（黒川）

精神障害者が地域で安心して
生活していくために

富谷市・黒川地域自立支援協議会において令和2年度から「福祉」関係者を中心に重点課題として取り組んできた【精神包括ケアシステム協議会準備プロジェクト】を前身とし、令和6年度には「保健」「福祉」関係者で構成された【精神包括ケア検討会】を設置。富谷市・黒川地域自立支援協議会における協議の場の確保に向けた検討を開始した。今後、協議の場としての機能を確立し、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み等を目指す。

1 圈域の基礎情報

基本情報



| | | |
|--|--------------------------|--------------|
| 障害保健福祉圏域数 (R7年4月時点) | 1 | か所 |
| 市町村数 (R7年4月時点) | 4 | 市町村 |
| 人口 (R7年4月時点) | 92,671 | 人 |
| 精神科病院の数 (R7年4月時点) | 1 | 病院 |
| 精神科病床数 (R7年4月時点) | 123 | 床 |
| 入院精神障害者数※病院住所ベースの数 (R5年6月時点) | 合計 50 | 人 |
| | 3か月未満 (% : 構成割合) 4 | 人 |
| | 8.0 | % |
| | 3か月以上 1年未満 (% : 構成割合) 10 | 人 |
| | 20.0 | % |
| | 1年以上 (% : 構成割合) 36 | 人 |
| | 72.0 | % |
| | うち65歳未満 18 | 人 |
| | うち65歳以上 18 | 人 |
| 退院率 (R3年時点) NDB | 入院後3か月時点 60.5 | % |
| | 入院後6か月時点 77.2 | % |
| | 入院後1年時点 85.5 | % |
| 相談支援事業所数 (R7年4月時点) | 基幹相談支援センター数 1 | か所 |
| | 一般相談支援事業所数 1 | か所 |
| | 特定相談支援事業所数 12 | か所 |
| 保健所数 (R7年4月時点) | 1 | か所 |
| (自立支援) 協議会の開催頻度 (R6年度) | (自立支援) 協議会の開催頻度 6 | 回／年 |
| | 精神領域に関する議論を行う部会の有無 有 | |
| 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況 (R7年3月時点) | 都道府県 有 | 1 か所 |
| | 障害保健福祉圏域 有 | 1/1 か所／障害圏域数 |
| | 市町村 有 | 4/4 か所／市町村数 |

2 精神障害にも対応した地域包括ケアの構築支援事業 実施前の課題・実施後の効果等

<R6年度までの成果・効果>

| 課題解決の達成度を測る指標 | 目標値 (R6年度当初) | 実績値 (R6年度末) ※R5年度末情報が最新データ のため参考値として記載 | 具体的な成果・効果 |
|--------------------|--------------------------|---|--|
| 1年以上の長期入院者数(65歳以上) | 74人以下 ※1 (宮城県 1,793人) | 30人 ※2 (宮城県 1,124人) | 1年以上の長期入院者数は、65歳以上、65歳未満ともに目標値は達成されている。 |
| 1年以上の長期入院者数(65歳未満) | 26人以下 ※1 (宮城県 635人) | 24人 ※2 (宮城県 543人) | |
| 黒川圏域における協議の場の開催の有無 | 有 | 有 | 精神包括ケア検討会を設置し、年4回開催した。各市町村及び圏域の協議の場の機能整理(可視化)を行い、共通理解を得るとともに、各市町村の課題・取組を共有し、圏域の課題を検討するための基盤が構築できた。 |

※1 宮城県目標値 × 黒川圏域人口 (R6.4月時点) / 宮城県人口 (R6.4月時点) = 小数点第1位四捨五入

※2 入院者住所ベースで算出した数 = 黒川圏域1市2町1村の1年以上の長期入院者数

③ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

- ・富谷市・黒川地域自立支援協議会内に「精神包括ケア検討会」を設置し、管内市町村保健・福祉担当者及び基幹相談支援センターを構成員とし、各市町村での取り組みの情報共有及び意見交換等を定期的に行い気運を醸成してきた。管内市町村(1市2町1村)がそれぞれに地域課題の検討や課題解決に向けた取組(事例検討、実態調査、普及啓発など)を推進し、市町村単位の協議の場の設置につながっている。
- ・4市町村で合同設置している基幹相談支援センターが、管内の状況を広く把握し、富谷市・黒川地域自立支援協議会の事務局として、自立支援協議会内の各検討会議を運営しながら、保健・福祉連携の要となっている。

| 課題 | 課題解決に向けた取組方針 | 課題・方針に対する役割(取組) | | |
|---|--|-----------------|-----------------------------------|--|
| 精神障害者が安心して生活するための圏域の資源や相談支援体制、住民への啓発等、地域課題の整理や今後必要な取組みの方向性の検討が必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療・福祉関係者による「にも包括」構築の体制を整備する(圏域の協議の場の機能強化) ・圏域に関する各種情報を収集・分析し、取り組むべき課題を明確化する | 行政 | 市町村や圏域の情報収集・分析、課題の整理協議の場(検討会)への参加 | |
| | | 医療 | 協議の場(検討会)への参加(R7年度以降) | |
| | | 福祉 | 協議の場(検討会)への参加 | |
| | | その他関係機関・住民等 | 未定 | |

| 課題解決の達成度を測る指標 | 現状値 (R7年度当初) | 目標値 (R7年度末) | 見込んでいる成果・効果 |
|----------------------|-----------------|----------------|--|
| ✓ 精神包括ケア検討会への医療の参画 | 無 | 有 | <ul style="list-style-type: none"> ・精神包括ケア検討会に医療の参画を得られることで協議の場の機能強化が期待される。 |
| ✓ 精神包括ケア検討会の開催回数 | 未実施 | 年3回以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・精神包括ケア検討会の実施を通して、圏域の地域課題を整理し、取り組むべき優先度の高い課題を抽出することを目指す。 |
| ✓ 密着アドバイザーの助言等を受ける回数 | 未実施 | 年1回以上 | |

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況

【にも包括構築の体制】

富谷市・黒川地域自立支援協議会精神包括ケア検討会において精神障害者のニーズの把握や地域課題を整理し、課題解決に向けた取組を行うとともに、県・圏域・市町村の各協議体が重層的に連動し、県全体の「にも包括」の構築につなげる。

| 所管部署名 | 所管部署における主な業務 |
|-----------|----------------------------------|
| 仙台保健福祉事務所 | 精神包括ケア検討会の運営に関する技術支援、圏域の現状や課題の把握 |

| 連携部署名 | 連携部署における主な業務 |
|----------------------|---|
| 黒川圏域1市2町1村基幹相談支援センター | 精神包括ケア検討会の運営、各市町村の現状や課題の把握、関係機関・部署と連携した各自の取組の推進 |
| 塩釜保健所黒川支所 | 管内市町村の地域精神保健活動に関する技術支援、圏域の現状や課題の把握 |
| 精神保健福祉センター | 課題解決に向けた技術支援 |

| 各部門の連携状況 | | 強み・課題等 |
|-----------------|--|---|
| 保健 | 個別支援、事例検討、精神包括ケア検討会への参加等を通じた市町村や事業所との連携。 精神保健福祉相談、その他専門相談の利用促進。 | 左記の連携を通じ、圏域の現状把握、地域課題の抽出を行う基盤が構築されている。複数の市町村で精神保健福祉相談事業が事業化され、相談支援体制の強化が図られている。 |
| 医療 | 個別支援を通じた連携。 精神保健福祉相談指導医の委嘱。 | 精神科病院1、診療所2が所在しているが、新患の予約、受診に時間がかかる。圏域外(主に仙台市)の医療機関利用者も多い。 |
| 福祉 | 個別支援、事例検討、精神包括ケア検討会への参加等を通じた市町村や事業所との連携。 | 左記の連携を通じ、圏域の現状把握、地域課題の抽出を行う基盤が構築されている。障害特性に対応したサービスの不足が課題。 |
| その他関係機関 ・住民等 | 精神保健福祉相談、その他専門相談の利用促進。 精神保健福祉に関する普及啓発。 | 住民への普及啓発の取組に積極的。不登校(将来のひきこもり)問題については教育機関との連携を強化する動きがある。 |

※各部門の状況はできるだけ詳しく記載ください。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

| 名称 | 協議の場の構成員 | 開催頻度 | 実施内容 | 特記事項等(課題・強み等) |
|---|--|------|---|--|
| 富谷市・黒川地域自立支援協議会 精神包括ケア検討会 ※R7年度～協議の場としての機能強化を目指す | <ul style="list-style-type: none"> ・1市2町1村担当者 ・基幹相談支援センター ・仙台保健福祉事務所(塩釜保健所)担当者 ・塩釜保健所黒川支所担当者 ・管内精神科医療機関 | 年3回 | 圏域の資源や相談支援体制に関する情報収集・分析、圏域の課題の整理、優先度の高い課題の抽出及び取組方針の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・各市町村の保健・福祉担当者が出席している。R7年度以降は医療関係者の参画を予定。 ・都道府県等密着アドバイザーの助言を受ける機会を確保している。 |

【その他事項】 ※協議の場運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載ください

・圏域に関する各種情報を分析(焦点化)し、取り組むべき課題を整理し可視化する手法

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（長期）

事業利用予定年数：令和 8 年度まで

| | |
|------|--|
| 長期目標 | 圏域の協議の場における関係機関の連携を強化し、圏域の課題の解決を図るための取り組みをしながら「にも包括」の構築を目指す。 |
|------|--|

| 年 度 | 実施内容 | 具体的な取組 |
|------------|---------------------------------|--|
| R6 ～7年度 | 協議の場としての機能を確立 情報収集・分析、課題の整理 | <p>①保健・医療・福祉関係者による「にも包括」構築の体制を整備する（圏域の協議の場の機能強化）</p> <p>②圏域に関する各種情報を収集・分析し、圏域で取り組むべき課題を明確化する</p> |
| R8年度 | 「にも包括」構築のための事業展開 (圏域の課題への取組) | 圏域の資源や相談支援体制に関する課題解決のために必要な取組内容や役割分担の整理 |

7

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（R7年度）

| 短期目標 (今年度) | <ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療・福祉関係者による「にも包括」構築の体制を整備する（圏域の協議の場の機能強化）。 ・圏域に関する各種情報を収集・分析し、取り組むべき課題を明確化する。 | |
|-----------------------|--|--|
| スモール ステップ | <ul style="list-style-type: none"> ・精神包括ケア検討会において、「にも包括」構築に向けた今年度の活動目標や取組方針を共有する。 ・精神包括ケア検討会において、各市町村、基幹相談支援センター等で把握した「にも包括」に係る地域課題と取組を共通様式で可視化し、共有する。 ・管内の精神科医療機関に出向き、「にも包括」構築に係る現状・課題のヒアリングを行う。 ・精神包括ケア検討会での協議を通して、圏域で取り組むべき課題を抽出、優先順位及び取組方針を検討する。 | |
| 時期(月) | 実施内容 | 具体的な取組 |
| R7.6月 | 精神包括ケア検討会① | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動目標や取組方針を共有した。 ・市町村ごとの課題及び取組状況を共有した。 |
| R7.7月 | 医療機関ヒアリング | <ul style="list-style-type: none"> ・管内の精神科医療機関（病院1、診療所2）にヒアリングを行い、精神科医療の実情及び「にも包括」構築に係る現状・課題を把握した。 |
| R7.9月 | 精神包括ケア検討会② | <ul style="list-style-type: none"> ・市町村ごとに抽出された課題や医療機関からヒアリングした情報・ReMHRAD等統計データ等をもとに、都道府県等密着アドバイザーの助言をいただきながら、圏域の課題を整理する予定。 |
| R7.12月 | 精神包括ケア検討会③ | <ul style="list-style-type: none"> ・圏域で取り組むべき課題を抽出、優先順位を検討する予定。 ・R8年度の取組の方向性を検討する予定。 |
| R8.1～3月 | R8年度ロードマップの作成 | <ul style="list-style-type: none"> ・R8年度ロードマップを作成し、事務局内で共有する予定。 |